



特別講演

7月27日(木) 14:00~15:00

第1会場(南館5階エミネンスホール)

うつ病臨床の歴史と展望

司 会：樋口 輝彦 (国立精神・神経センター武蔵病院)

演 者：上島 国利 (国際医療福祉大学医療福祉学部)

教育講演

7月28日(金) 13:15~14:15

第1会場(南館5階エミネンスホール)

職場が留意すべきうつ病対策：一次、二次、三次予防について

司 会：上島 国利 (国際医療福祉大学医療福祉学部)

演 者：尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野)

シンポジウム I

7月27日(木) 9:30~12:00

第1会場(南館5階エミネンスホール)

女性のライフサイクルとうつ

オーガナイザー：神庭 重信 (九州大学医学研究院精神病態医学)、長谷川 雅美 (金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻)

シンポジスト：

児童思春期のうつ

花田 裕子 (長崎大学医学部保健学科精神看護学)

性周期に関連したうつ病~PMDDを中心として~

岡野 禎治 (三重大学保健管理センター)

周産期とうつ病：妊産婦のメンタルヘルスと

村瀬 聡美 (名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター児童精神医学分野)

生まれてくる子どもへの影響

女性更年期とうつ

河端 恵美子 (都立大塚病院女性専用外来担当)

—女性外来を担当する看護職の立場から—

指定討論：

中高年とうつ病

古野 毅彦 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター精神科)

男性更年期の立場から

石藏 文信 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

シンポジウム II

7月28日(金) 14:15~16:45

第1会場(南館5階エミネンスホール)

いま、自殺対策を考える

オーガナイザー：山田 光彦 (国立精神・神経センター精神保健研究所)、大野 裕 (慶應義塾大学保健管理センター)

シンポジスト：

地域における自殺防止への取り組み

大野 裕 (慶應義塾大学保健管理センター)

救命救急センターを起点とした自殺予防へのとりくみ

河西 千秋 (横浜市立大学医学部精神医学教室)

自殺総合対策へ~新しいつながりが、新しい解決力を生む~

清水 康之 (特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク)



レクチャー 1

7月27日(木) 16:30~17:30

第1会場(南館5階エミネンスホール)

最も難治なうつ病としての「双極性うつ病」

座長：小山 司(北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野)

演者：加藤 忠史(理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム)

レクチャー 2

7月27日(木) 16:30~17:30

第2会場(本館4階花A)

職場復帰時のうつ病再発防止へむけて：職場復帰援助プログラム、気質と職場の対人ストレス、集団認知療法、職場復帰準備性評価シート

座長：高橋 祥友(防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門)

演者：秋山 剛(NTT東日本関東病院精神神経科)

レクチャー 3

7月27日(木) 16:30~17:30

第3会場(本館4階花B)

ひきこもりとうつ

座長：笠原 洋勇(東京慈恵会医科大学附属柏病院)

演者：山田 和夫(東洋英和女学院大学人間科学部/医療法人和楽会横浜クリニック)

レクチャー 4

7月27日(木) 17:30~18:30

第1会場(南館5階エミネンスホール)

うつ病は身体疾患の予後を左右する

座長：山脇 成人(広島大学大学院精神神経医学)

演者：久保 千春(九州大学大学院医学研究院心身医学)

レクチャー 5

7月27日(木) 17:30~18:30

第2会場(本館4階花A)

①事業場外機関と産業医との連携 外部EAPおよび専門医療機関との連携を中心に

②一企業の専属産業医として思うこと ~医療機関選択、セカンドオピニオンの重要性~

座長：島 悟(東京経済大学)

演者：①田中 克俊(北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学) ②堀川 直人(富士電機システムズ株式会社東京地区健康管理センター)

レクチャー 6

7月27日(木) 17:30~18:30

第3会場(本館4階花B)

児童・思春期の抑うつ

座長：坪井 康次(東邦大学心療内科)

演者：生野 照子(神戸女学院大学人間科学部/あべのクリニック心療内科)



レクチャー 7

7月28日(金) 9:00~10:00

第1会場(南館5階エミネンスホール)

睡眠とうつ病—原因か結果か

座長：久保木 富房(東京大学名誉教授)

演者：内山 真(日本大学医学部精神医学講座)

レクチャー 8

7月28日(金) 9:00~10:00

第2会場(本館4階花A)

企業のうつ対策 ~早期発見から介入まで~

座長：三村 将(昭和大学医学部精神医学教室)

演者：森崎 美奈子(帝京平成大学大学院健康情報科学研究科メディカル学部臨床心理学)

レクチャー 9

7月28日(金) 9:00~10:00

第3会場(本館4階花B)

リエゾン精神看護と抑うつ

座長：萱間 真美(聖路加看護大学精神看護学)

演者：野末 聖香(慶應義塾大学看護医療学部)

セミナー(講習会) 1

7月28日(金) 10:00~12:00

第1会場(南館5階エミネンスホール)

うつ病に対する認知療法演習

コーディネーター兼講師：坂野 雄二(北海道医療大学心理科学部)

セミナー(講習会) 2

7月28日(金) 10:00~12:00

第2会場(本館4階花A)

MADRS (Montgomery Åsberg Depression Rating Scale) 日本語版によるうつ病の臨床評価

コーディネーター兼講師：稲田 俊也(帝京大学医学部附属市原病院メンタルヘルス科)

高橋 長秀(名古屋大学大学院医学系研究科精神生物学分野)

セミナー(講習会) 3

7月28日(金) 10:00~12:00

第3会場(本館4階花B)

うつ病入門講座—うつ病を知る 模擬患者の面接を通して

コーディネーター兼講師：田島 治(杏林大学保健学部精神保健学教室)

協力講師：松久保 章(野崎クリニック/日本福祉教育専門学校)

コーディネーター：佐伯 晴子(東京SP研究会)



交流の広場

7月28日(金) 14:15～16:45

第5会場(南館5階 だりあ)

うつ病回復期のサポート：メンタルヘルスの現場から

司 会：野村 総一郎（防衛医科大学校精神科学講座）

長谷川 雅美（金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻）

ケース1 「うつ病社員さんを担当して遭遇する問題」

事例提供者：内田 恵美子（富士電機健康管理センター心理室）

ケース2 「周囲の理解と支援により早期に社会復帰ができたケース」

事例提供者：河村 誠（特定非営利活動法人ナースカンパニー）

応募方法：7月27日(木)8:30～受付を開始いたします。総合受付でお申し込みください。

（先着25名、定員になり次第締め切らせていただきます）

うつ病に関わる医師、看護師などの医療職、臨床心理士、ケースワーカーなどの医療職や、保健師、職場関係者など地域で生活を支える立場の人々も交えて、回復期にあるうつ病患者の事例を基に、多面的な角度から活発な意見交換をし、職場復帰につながる専門職者としてのサポートのあり方を検討したいと思います。

担当者より2事例を挙げて話題提供をし、その後それぞれの立場から自由にディスカッションして頂きます。皆様のご参加をお待ちしております。

ランチョンセミナー 1

7月27日(木) 12:00~13:00

第1会場(南館5階エミネンス)

うつからの社会復帰—働く人のメンタルケア—

座 長：小山 司 (北海道大学大学院医学研究科精神医学分野)

演 者：島 悟 (京都文教大学人間学部臨床心理学科/産業精神保健研究所/神田東クリニック)

共 催：旭化成ファーマ株式会社・ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー 2

7月27日(木) 12:00~13:00

第2会場(本館4階花A)

うつ病の薬物治療の最前線

座 長：切池 信夫 (大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学)

演 者：石郷岡 純 (東京女子医科大学医学部精神医学教室)

共 催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 3

7月28日(金) 12:00~13:00

第1会場(南館5階エミネンス)

新しい抗うつ薬がやってくる

座 長：樋口 輝彦 (国立精神・神経センター武蔵病院)

演 者：上島 国利 (国際医療福祉大学医療福祉学部)

共 催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 4

7月28日(金) 12:00~13:00

第2会場(本館4階花A)

社会不安障害と大うつ病性障害

座 長：中村 純 (産業医科大学精神医学教室)

演 者：永田 利彦 (大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学)

共 催：アステラス製薬株式会社・明治製菓株式会社

市民公開講座

7月28日(金) 18:00 ~ 20:00

第1会場(南館5階エミネンス)

第3回 日本うつ病学会 市民公開講座 / 第6回 JCPTD 市民公開講座 (併催)

テーマ：うつ病の治療法を考える—当事者、家族が求めるもの

司 会：樋口 輝彦 (国立精神・神経センター武蔵病院)

共 催：日本うつ病学会 / JCPTD委員会

〈プログラム〉

挨拶：中根 允文 (長崎国際大学人間社会学部/長崎大学名誉教授)

講演 1 やまない雨はない 妻の死、うつ病、それから・・・
倉嶋 厚 (気象エッセイスト)

講演 2 うつ病の治療法：精神療法の立場から
大野 裕 (慶應義塾大学保健管理センター)

講演 3 うつ病の薬と身体療法：どこまで進んだか
野村 総一郎 (防衛医科大学校精神科学講座)

後 援：日本経済新聞社

日本精神神経学会(予定)

日本臨床精神神経薬理学会

社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所

日本産業カウンセラー協会(予定)

協 賛：塩野義製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社

入場料：無料

定 員：740名(予定)

参加者募集方法

この市民公開講座は一般市民の方を対象にしております。

一般市民の方に対しては、6月下旬と7月上旬に日本経済新聞紙上(地域限定)におきまして市民公開講座の告知および参加者募集広告を掲載し、応募された方の中から抽選を行います。当選された方のみ参加することができます。

第3回日本うつ病学会総会のプログラムのひとつでもありますが、一般市民の方を優先し、第3回日本うつ病学会総会参加者の方には恐縮ですが、入場を制限させていただきます。

7月27日(木) 8:30~総合受付にて市民公開講座参加希望の方を先着100名まで受付いたします。ご希望の方は参加登録時にお申し出ください。参加希望者が100名を越えた場合には締切らせていただきますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。